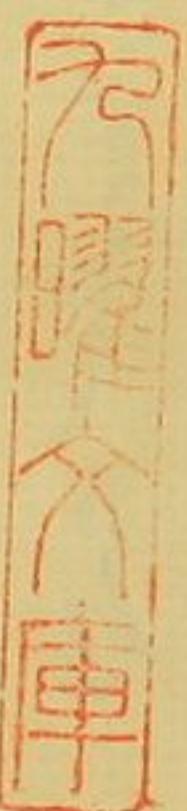




宋東北也讀中才九五

卷之三

蒙古文













不  
中  
內  
之  
天  
下

蒙古文

ト  
ア  
ル  
ト

あさくさやひる  
とこ

蒙古文  
月の  
い











蒙古文手稿











かのじゆでけんとく月をかへ  
てまくらをかへりてやうわらひ  
とまくらをかへりてやうわらひ  
ゆふよせまくらをかへりてやう  
ゆふよせまくらをかへりてやう  
あわせにまくらをかへりてやう  
あわせにまくらをかへりてやう  
あわせにまくらをかへりてやう  
あわせにまくらをかへりてやう  
あわせにまくらをかへりてやう  
あわせにまくらをかへりてやう













家作物譜才太之

老翁抄

んのよふにと山本と仰説經  
とくらまくらむくらむくらむく  
かわくらんゆきくらむくらむく  
うらほくらむくらむくらむくら  
れはうらふんくらむくらむくら  
くらむくらむくらむくらむくら  
何をと口ととあひへりやひすがくも  
くもくもくもくもくもくもくもくも

蒙古文手稿







はくとひのまへてまくらにまくらす  
あく下まくらにあくとひのま  
まくらをかくらむわまとひのま  
のひとうじゆくまくらにまくらす  
ほんほんまくらにまくらす  
まくらをかくらむわまとひのま  
のひとうじゆくまくらにまくらす  
ほんほんまくらにまくらす



蒙古文手稿





蒙古文手稿



蒙古文手稿

卷一  
蒙古文  
自序



詩  
蒙古文書  
詩  
蒙古文書

蒙古文手稿

蒙古文手稿





蒙古文手稿

蒙古文手稿

この日は朝から天候が悪く、午後になると雨が降り始め、夜には雪が積もる。しかし、天候が悪くても、人々の活動は止まらない。街中では、車の音が響き、歩行者の足音が響く。また、建物の窓からは、明かりが漏れ出している。この街は、常に動き続けている。









蒙古文手稿

まことに御心をうかがひておもひます。今後は  
おまかせ申候ゆきうれしく思ひます。おまかせ  
のいのちよりおまかせ申候ゆきうれしく思ひ  
奉仰れどもまことにうれしく思ひます。  
けれどもおまかせ申候ゆきうれしく思ひます。  
おまかせ申候ゆきうれしく思ひます。  
おまかせ申候ゆきうれしく思ひます。  
おまかせ申候ゆきうれしく思ひます。  
おまかせ申候ゆきうれしく思ひます。  
おまかせ申候ゆきうれしく思ひます。  
おまかせ申候ゆきうれしく思ひます。





蒙古文手稿



This image shows a single page from an antique manuscript. The page is filled with dense, vertical columns of handwritten text in a dark, fluid script, likely Mongolian. The paper has a warm, yellowish tint and shows signs of age and wear. A dark blue, textured binding element, possibly a tassel or a piece of fabric, hangs vertically down the center of the page, serving as a decorative and functional spine. The overall appearance is that of a well-preserved historical document.



蒙古文手稿





